

【支援企業紹介】



# 株式会社 小林精機

## 高い技術と

P2

## 開発力でものづくりの未来を拓く



第14回いわて希望ファンド、  
第11回いわて農商工連携ファンド  
公募予定

岩手県知財総合支援窓口  
のご紹介

平成24年度いわて商談会  
参加企業募集

設備貸与制度のご案内

チャレンジ・ショップ  
出展者募集のお知らせ





# 高い技術と 開発力でものづくりの未来を拓く

ものづくり王国・日本の屋台骨を支えてきた金属加工業。グローバル化の波のなか多くの企業が厳しい経営環境に置かれているが、技術力・開発力・人間力の3本柱で内外のメーカーから信頼を得ているのが株式会社小林精機。自身の『弱点』を認識し、さまざまな企業や研究機関と連携して挑戦を続ける姿勢で自社の未来を拓いてきた。

## さまざまな協力者との出会いで 自身の“弱み”を克服してきた

戦後日本の復興を支えてきた製造業の中でも、その高い技術力と品質の良さで世界からも注目を浴びるのが金属加工である。

現在は滝沢村大釜に本社工場を置く株式会社小林精機も、戦後の昭和28年に旋盤加工を得意とする町工場として盛岡市志家町で創業し、昭和33年に同市山王町に移転。昭和52年に有限会社に改組し、平成元年にはそれまでと比べ10倍の広さの土地を滝沢村大崎に取得・移転と、規模を拡大してきた。

昭和53年に経営を引き継いだ現社長の小林清之さんは「自分の“弱み”を補ってく

れる仲間と従業員に恵まれた」と、これまでの歩みを振り返る。若干27歳での事業継承、そしてオイルショック後の受注数激減などの難しい局面も、人との出会いで乗り越えてきたからだ。なかでも昭和63年、異業種5社（現在6社）で発足した「テクニア岩手協同組合」の活動は大きな転機に。同組合は研究開発を目的に誕生した異業種協同体であり、産学官連携や海外工場の建設に取り組む企業も参画していた。この活動をきっかけに、同社にもメカトロニクス研究開発事業「Z Project」が発足、岩手県工業技術センターとの共同研究が始まった。

営業力とは何か、魅力ある会社を作るためにすべきことは…。活動で気づいた『弱点』が、開発力の強化に結実したといえる。

## 生産管理システムもオリジナル 技術力のさらなる強化もテーマ

平成に入ると、小林精機の活動はさらに展開していく。平成4年「Z Project」による無人加工セルシステムの開発に成功。社内にも正式なプロジェクトチームも発足し、その後は岩手大学などとの産学官共同開発研究事業へ繋がっていく。一方の生産部門も受注が右肩上がりを持っていた。

だが順風満帆に見えたさなか、小林社長は顧客からのクレームという形で再度『弱点』と向き合うことになる。好調な生産現場に対し、材料手配から生産個数、工程そして納期などの生産管理がおろそかになっていたことに気づいたのである。そこで同社では工業技術センターの指導の元で自社オリジナルの生産管理システムを開発。担当者のなめかた行方学さんは社内業務の流れを調査、部署ごとの調整を図りながらプ

ログラムを構築した。これにより試作から量産まで月約6000点にも及ぶ部品管理と、短納期・高品質の両立が実現したのである。

半世紀に亘る事業で磨かれた同社の技術力は、バルブ関連部品や医療分析装置、化学分析装置部品など多岐に渡る生産品目を可能にした。その上で「オンリーワンの技術を作り出していきたい」と展望を描く小林社長は、難削材の加工技術を高める研究開発のため社内に新たなプロジェクトチームを設置、チャレンジを続けている。当いわて産業振興センターも、設備貸与をはじめ受発注のあっせんによる支援を続けてきた。「センターのあっせん事業は東北の先駆け」と、小林社長も効果を実感している。

今年5月、小林精機は滝沢村大釜に本社と工場を移転。3倍の広さとなった敷地の一面には社員の福利厚生施設も誕生した。技術力と開発力。それを支える人間力を結集し、小林精機の新しい世紀は始まっている。

- ①②③ 複合加工機やマシニングセンターなど多彩な設備を整え、あらゆるニーズに対応できる体制。一方では昔から使っていた汎用旋盤で、若手にもつくりを継承する「里山づくり」にも取り組んでいる。
- ④⑤ 機械加工の技能検定の有資格者も多数おり、最新設備の機能を最大限に活用。
- ⑥ 厳正な検査体制をひく品質保証部門。
- ⑦ 企画情報室の室長であり、生産管理システムの構築も手がけた行方学さん。
- ⑧ 滝沢村のリサーチパークでこの5月から本格的な操業がスタートした本社工場。
- ⑨⑩ 工場と直結する福利厚生棟。1階はホール、2階には休憩室とゲストルーム。

我が社の  
力こぶ  
はコレ!

職場環境づくりを通し、  
人材が育っています

安心して働ける環境づくりは会社の役目。日々いい変化が起こる職場で働くことは社員にとって何よりの喜びです。そんな環境を提供することで人材が育っており、取り組んできたことも社内にとんどん還元されていることを実感しています。

小林清之  
代表取締役



会社名 株式会社小林精機  
所在地 岩手郡滝沢村大釜宇風林3-21  
所在地 019-686-1166  
代表者 小林 清之  
創業 昭和28年  
従業員 97名  
業種 各種精密機械部品の加工及び組立、自動化・省力化機器の設計製作、コンピュータソフト開発

発信!!  
いわての  
力こぶ

【支援企業紹介】滝沢村  
株式会社小林精機





# 第14回 いわて希望ファンド

# 第11回 いわて農商工連携ファンド

# 公募予定 (公募期間についてはお問い合わせください)

## いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取組などについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業・企業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●創業する者</li> <li>●中小企業者(法人または個人事業者)</li> <li>●特定非営利活動法人、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)</li> </ul>		
(1) 地域資源活用枠	(2) 起業・経営革新枠		
「地域資源」(農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財等の観光資源など)を活用する事業	創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業または経営革新計画の承認を受けた事業		
助成率 助成限度額	お問い合わせください	助成率 助成限度額	お問い合わせください
助成期間	1年間 (※継続3年以内 (毎年審査))	助成期間	1年間 (※継続3年以内 (毎年審査))

### 中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者</li> <li>●小売・サービス業を営む、県内に住所のある中小企業者(法人または個人事業者)</li> <li>●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合</li> <li>●知事が適当と認める特定非営利活動法人</li> </ul>
助成率 助成限度額	お問い合わせください
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

### 支援機関による支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

第13回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、5月23日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

## 第13回いわて希望ファンド 地域活性化支援事業 採択事業決定

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
地域資源	漆掻き いがり	二戸市	漆掻きとそれにより採取された漆の活用を通して成り立つ事業の確立(継続事業2年目)
	(株)肉の横沢	八幡平市	八幡平牛の新商品開発及び拡販
	(有)アリラン商事	紫波町	埋もれた食用資源(ツルニンジン)を活かした新商品開発と販路開拓
中心市街地	花巻商工会議所	花巻市	花巻中心市街地の賢治・星めぐりの街活性化事業(継続事業3年目)
	岩手県商工会連合会	盛岡市	創業を促進するための「創業塾」と、経営改善への取組みによる経営基盤の強化のための「経営革新塾」を開催し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。
支援機関	盛岡商工会議所	盛岡市	創業を促進するための「創業塾」と、経営改善への取組みによる経営基盤の強化のための「経営革新塾」を開催し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。
	(財)いわて産業振興センター	盛岡市	スーパーマーケットトレードショーへの県統一出展とそのためのセミナー事業及び試験販売支援事業を実施

## いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

### 起業・新事業活動支援事業

創業者または経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体による、以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 →農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行う者及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁業、連合会も可)</li> <li>●中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体(注)申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・助成金の受領等を行う</li> </ul>
助成率 助成限度額	お問い合わせください
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

### 支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

#### ●農商工連携の基本的要件

- 1 有機的連携**  
中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること  
◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。  
◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。
- 2 新商品の開発等**  
事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること  
◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

#### ●農商工連携の事例～エゴマ調味料の事例～

**中小企業者(調味料メーカー)**  
大豆・小麦アレルギーが発生しない新たなエゴマ利用調味料の施策や岩手県産の食材と組み合わせたレシピ開発等を進め、販路開拓を図る。

**農林漁業者(農業者)**  
エゴマは、健康食品として注目を集めている。農業や化学肥料を使わない生産を進め、研修会や産地の情報発信を行う。

**連携**  
それぞれが工夫を凝らした取り組み!

**新商品開発!**

## 第10回いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業 採択事業決定

第10回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、5月23日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	(株)紫波フルーツパーク (連携者:作山ファーム)	紫波町	加工に適した最適米の栽培から製粉、米粉商品開発、販売までの一貫した製品作り(継続事業2年目)
	久慈琥珀(株) (連携者:岩手県浄法寺漆生産組合)	久慈市(二戸市)	国内最大生産地 琥珀と漆の融合(継続事業2年目)
支援機関	(財)いわて産業振興センター	盛岡市	岩手県内における中小企業者及び農林漁業者向けに実践的・実務的事業化支援セミナーを開催

### ●手続きの流れ



お問い合わせお申し込み先 **産業支援グループ** (いわて希望ファンド担当/岸 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤)  
 TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール joho@joho-iwate.or.jp



# 知的財産に関するあらゆるご相談に対応致します。



～岩手県知財総合支援窓口のご紹介～

岩手県知財総合支援窓口は、中小企業等が企業経営の中で抱えるアイデア段階から事業展開までの知的財産に関する悩みや課題を一元的に受け付け、知的財産に携わる様々な専門家や支援機関と共同してその場で解決を図るワンストップサービスを提供する事業(特許等取得活用支援事業)です。

いわて産業振興センター、岩手県工業技術センター、岩手県発明協会が共同で運営しています。

## こんなときにご相談ください

特許を出願をしたい、  
商標やデザインを登録したい

知財の出願・登録  
(国内、国外)

新商品が他社の権利を侵害しないか調べたい

侵害対応、侵害対策

経営に知的財産を活かしたい

知財活用経営の実現

他社の特許を使いたい

知財のライセンス・譲渡

知財の適切な管理を行いたい

知財の管理体制の構築と人材の育成

## 私達にご相談に対応します!



**中嶋孝弘アドバイザー**  
2級知的財産管理技能士(管理業務)  
長年に亘る企業及びアドバイザーでの知的財産に関する業務・支援経験を活かして、知的財産経営のお手伝いをしていきたいと思っております。



**佐藤清子アドバイザー**  
2級知的財産管理技能士(管理業務)  
皆様にとって、一番身近な知財の相談窓口です。どうぞお気軽にご相談ください。



**井旗智子アドバイザー**  
3級知的財産管理技能士(管理業務)  
小さなことでも、まずはご相談ください。窓口で一緒に解決しましょう。

弁理士等知財専門家による無料相談も行っています。

### ◆知財総合支援窓口専門家駐在予定日

会場:(地独)岩手県工業技術センター2階				
	菅原弁理士 13:00~16:00	富沢弁理士 13:00~16:00	西澤弁理士 9:00~12:00	丸岡弁理士 9:00~15:00
7月	—	—	18日(水)	25日(水)
8月	1日(水)	22日(水)	8日(水)	29日(水)
9月	5日(水)	26日(水)	19日(水)	12日(水)

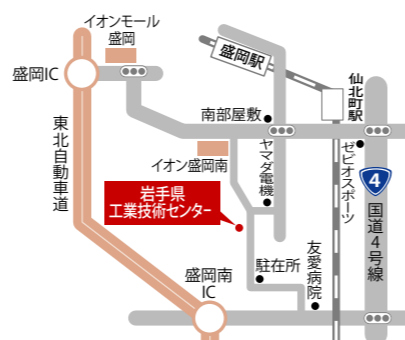
※10月以降の開催日についてはお問い合わせください。

### お問い合わせ

**所在地** 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田3地割35-2  
(地独)岩手県工業技術センター2階  
**電話** 019-656-4114 **FAX** 019-636-0256  
**E-mail** chizai-1@pref.iwate.jp / chizai-2@pref.iwate.jp  
**HPアドレス** <http://www.pref.iwate.jp/~kiri/chiteki/new-tizai.html>  
**開館時間** 8:30 ~ 17:15(休館日/土曜・日曜・祝祭日、年末・年始)  
**利用料** 閲覧、相談は無料  
※特許公報のプリントアウト等は有料となります。※ご来所の前に電話にてご連絡ください。  
**出張相談** ご要望により、貴社に向いて相談・支援を行います。 **無料出張**

### ◆アドバイザーによる出張支援窓口開設予定日

日程	会場
7/19(木)	岩手県一関地区合同庁舎
8/23(木)	岩手県宮古地区合同庁舎
9/20(木)	岩手県釜石地区合同庁舎



# 平成24年度 いわて商談会参加企業募集

(財)いわて産業振興センターでは、中小企業の新規取引拡大を支援する商談会を開催致します。当日はメーカー・商社等の発注企業との面談、受注企業間でのネットワーク形成の場を提供させて頂きます。今年度は下記のとおり開催いたしますので、今後の新規取引開拓、情報収集の機会として是非とも本商談会をご活用下さい。



**開催期間** 平成24年10月18日(木) 12:40~17:25

**会場** ホテルシティプラザ北上 (岩手県北上市川岸1-14-1 TEL 0197-64-0001)

**募集対象** 岩手県内外の受発注登録企業及び県外発注企業  
( casting, iron, machinery, metal processing, etc.)

## 当日までの流れ

本商談会は、あらかじめ指定した企業と面談する指名面談と当日のフリー面談により商談を行うイベントです。

- お申込[8月下旬まで]**  
受発注企業を募集します。
- 参加企業名簿の送付[9月下旬頃]**  
企業情報・案件情報をまとめた名簿を送付致します。
- 面談希望表のご提出[10月上旬頃]**  
名簿をご覧頂き、面談希望先を選択頂きます。
- 面談時間割表の送付[開催1週間前頃]**  
受発注双方の希望を元に、面談時間割を作成・送付致します。
- 商談会当日[10月18日]**
- 発注企業の県内企業見学[10月19日]**  
発注企業の希望を元に県内企業を個別にご案内致します。

## 当日スケジュール(予定)

11:30~12:40	受付
12:40~13:00	事務連絡
13:00~13:15	第1回指名面談
13:20~13:35	第2回指名面談
↓ 省略 ↓	
15:40~15:55	第9回指名面談
16:00~16:15	第10回指名面談
16:15~16:30	休憩・名刺交換等
16:30~16:45	第1回フリー面談
16:50~17:05	第2回フリー面談
17:10~17:25	第3回フリー面談
17:40~19:30	懇親会(希望者のみ)

**申込締切** 発注企業としての参加 平成24年8月31日(金)  
受注企業としての参加 平成24年8月24日(金)

**定員** 発注企業 先着50社  
受注企業 先着150社

参加料	商談会	懇親会
●発注企業	無料招待	●発注企業 無料招待
●受注企業	1名につき 6,000円 (いわて産業振興センター賛助会員は1名につき 3,000円)	●受注企業 1名につき 5,000円

**申込方法** 後日、開催案内を各社宛て郵送致します。また、センターホームページよりExcel形式申込書をダウンロードしてメールでお申込を頂いた方には最新の参加企業情報をメールにてご案内致します。  
**ホームページ:** <http://www.joho-iwate.or.jp/>

**申込・問合せ先** (財)いわて産業振興センター ものづくり振興グループ 取引支援チーム 担当:鈴木  
TEL:019-631-3822 FAX:019-631-3830 E-mail:sitauke@joho-iwate.or.jp

# 設備貸与制度のご案内

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して低利で割賦販売またはリースをする公的制度です。

**長期**  
5~10年

**低利**  
年利1.95%

**無担保**  
金融機関の借入枠とは別枠です

制度のしくみ



区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は45人以下)
貸付期間	原則5年または7年※1	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円~8,000万円※2	100万円~8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	---
利息(貸与損料)リース料	年1.95%※2	5年=1.837% 7年=1.360%
連帯保証人	法人:代表者含み2人以上	個人1人以上

(※1、※2)以下のいずれか1つの条件を満たせば、

**最長10年、1億円まで貸付可能です。**(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000 / ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)~(6)に該当する企業でも可

(※2)東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

**最長10年、措置期間2年利息1.85%で貸付可能です**

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

お問い合わせ

総務・金融グループ

☎019-631-3821 FAX019-631-3830

<http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

貴社の新商品を盛岡地区で試験販売し、手応えを確かめてみませんか？

## チャレンジ・ショップ 出展者募集のお知らせ

【主催】(財)いわて産業振興センター

**期間** 平成24年7月(予定)~平成25年2月末

※詳しい開始時期についてはお問い合わせ下さい

**場所** イオンモール盛岡南「いわて活菜横丁・結いの市」内  
チャレンジ・スペース

- 事業対象者**
- 中小企業支援法第2条に規定する中小企業者
  - 岩手県内において創業しようとする個人及びグループ
  - 農林水産物及びその加工品の生産者等
  - その他、(財)いわて産業振興センターが適当と認める者

**使用可能面積および1事業者あたりの出店限度日数**

- 5m×3.2m、最長7日間までで調整します。

● 詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.joho-iwate.or.jp/challengeshop/>

消費者ニーズや商品評価の把握にご活用ください！



お問い合わせ

● 空き日程の確認：社団法人遠野ふるさと公社(チャレンジ・スペース管理者) ☎019-631-3137

● チャレンジ・ショップ申込：(財)いわて産業振興センター産業支援グループ ☎019-631-3823

(財)いわて産業振興センター広報誌  
**産業情報いわて**  
2012年7月10日(毎月10日発行)

■発行／(財)いわて産業振興センター  
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2(岩手県先端科学技術研究センター2F)  
TEL.019(631)3823  
E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>  
■編集印刷／川崎印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。